

## ノーマライゼーションかしわプラン2021 R4年度実績について（概要）

## 柱1 みんなで守り寄り添う共生のまちづくり

ネットワーク構築による包括的相談支援や権利擁護体制，情報提供の充実を図り，誰もが互いに人格と個性を尊重し，支え合える共生のまちづくりを目指します。

## 重点

## 施策1 包括的相談支援体制の構築

## 取組1 相談支援・マネジメント体制の充実

目標 身近な場所で気軽に相談できる体制の充実

- 事業
- 障害者相談支援・コーディネート事業
  - 地域生活支援拠点運営協議会の開催  
(柱2に掲載のため以下への記載省略)
  - 柏市自立支援協議会相談支援部会の運営支援

- 実績
- 相談件数がR3から36%増の21,378件
  - 委託相談支援事業者連絡会ではスキルアップを目的にGSV(※)研修を実施。
  - 柏市自立支援協議会相談支援部会では地域の相談支援体制の課題検討等実施。

- 課題
- 地域の相談支援の質向上のため，基幹相談支援センターの機能強化や地域の相談支援機関の役割明確化が必要
  - 相談支援部会で人材育成指針作成予定

評価：○

## 取組2 福祉の総合相談窓口の設置

目標 「断らない」相談窓口の設置

- 事業
- 教育福祉会館のリニューアルに伴う総合相談支援事業
  - 包括的支援体制の構築事業

- 実績
- 福祉の総合相談窓口では重層的支援の入口として幅広い層の相談を属性にかかわらず受け止め

- 課題
- 総合相談窓口としてのコーディネート能力向上
  - 各機関の特徴を生かした役割分担

評価：○

(※)GSV(グループスーパービジョン)とは、支援者が集まり意見を出し合う中で良い解決策や対応方法を検討する手法

## 施策2 権利擁護体制の充実

## 実績

- 成年後見制度に係る中核機関設置及び一次相談窓口運用
- 報酬費制度に係る規則見直し
- 権利擁護や差別解消に係る会議を開催
- HPに差別事例を掲載する等周知強化

## 課題

- 一次相談窓口の周知徹底
- 関係機関と連携した対応や周知の強化

評価：○

## 施策3 情報提供の充実

## 実績

- しおりはR3版発行時に大幅な見直し
- 手話通訳者・要約筆記者派遣件数は回復傾向。要約筆記者は当事者団体の活用での利用増加

## 課題

- 国や民間の意思疎通支援が普及する中、自分にあったものを選択できるような幅広い周知が必要

評価：○

## 柱2 みんなで支え安心して暮らせる共生のまちづくり

暮らしを支える基盤整備やサービスの充実，バリアフリー化や災害・感染症等の緊急時対応を図り，誰もが安心して暮らせる共生のまちづくりを目指します。

### 施策1 暮らしを支える基盤整備 重点

#### 取組1 地域生活を支える場の充実

**目標** 地域生活支援拠点と連携した地域ネットワークの充実

- 事業**
- 地域生活支援拠点運営協議会の開催
  - 包括的相談体制構築に向けた会議の開催

- 実績**
- 地域生活支援拠点運営協議会では拠点機能の評価とあわせて，拠点機能の課題や地域課題について協議
  - 重層的支援会議では個別ケースの支援方針の決定
  - 市内専門相談支援機関を一堂に集め，取組報告や連携強化に向けて協議

- 課題**
- 拠点の役割の明確化と機能強化
  - 個別ケース支援とあわせて支援者支援を目指す
  - 各会議体が役割を果たせる体制整備

評価：○

#### 取組2 高齢障害・重度障害に対応した居住環境の整備

**目標** 高齢障害者・重度障害者等に対応した基盤整備

- 事業**
- 柏市立青和園の整備事業
  - 共生型サービスの整備

- 実績**
- 青和園では具体の整備はできなかったが，建て替えに向けた情報共有を実施
  - 補助金を活用して既存の障害福祉サービス事業所で高齢者等の受け入れを目指す

- 課題**
- 国補助金を活用した青和園のハード面の整備
  - 補助金活用例の公開や共生型サービスの提供について促進

評価：△

### 施策2 暮らしを支えるサービスの充実

- 実績**
- 訪問系サービスや日中活動系サービス各種の利用実績は概ね計画どおり推移

- 課題**
- 新たな生活様式に対応した形での，自立生活を促進するためのサービス提供
  - 生活介護は支給決定者増に伴い，通所先の確保が必要

評価：○

### 施策3 安全・安心な生活環境の整備

- 実績**
- 地域の支援体制構築状況は向上が見られる一方，コロナ禍の影響で自治体活動が停滞
  - ヘルプマーク配布数は前年度を上回る実績（R3：1,505→R4：2,166）

- 課題**
- コロナ禍で活動が停滞した町会の支援
  - K-netの制度説明会や感染防護用物資備蓄など，5類移行に伴う事業内容の検討

評価：○

# 柱3 みんながその人らしく社会参加できる共生のまちづくり

障害者の就労や社会参加を推進するための支援強化や拠点の整備，共生意識の醸成により，誰もがその人らしく生き生きと社会参加できる共生のまちづくりを目指します。

<b>施策1</b>	<b>就労支援の強化</b>	<b>重点</b>
取組1 就労支援体制の充実		
<b>目標</b>	就労支援機関や雇用関連機関等との連携による障害者雇用の促進	
<b>事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者就業・生活支援センター等との連携による就労相談事業</li> </ul>	
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労希望の障害者及び在職中の障害者が増加（R3：920人→R4：975人）</li> </ul>	
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長く安定して就労できる環境づくりのため，企業における理解促進に向けた取組が課題</li> </ul>	

評価：○

<b>施策2</b>	<b>拠点機能の整備による社会参加活動・交流事業の推進</b>	<b>重点</b>
取組1 多様な社会参加・交流の場の拡充		
<b>目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな方が社会参加できる機会を創出</li> <li>障害者団体の自主的な活動支援や居場所づくり</li> </ul>	
<b>事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者等社会参加・就労支援事業</li> <li>障害者等社会参加コーディネート事業</li> <li>福祉喫茶コーナーの運営</li> <li>障害者活動センター運営事業</li> </ul>	
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会参加や就労支援に関する事業は計画をやや上回るペースで推移</li> <li>福祉喫茶及び活動センターの利用件数は認知度向上に伴って伸びているものの，交流の場としての機能が不十分</li> </ul>	
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援に難しさがある対象者が多いため，支援スキルや支援方法の検討が必要</li> <li>交流機会や居場所を創出するための施策の検討が必要</li> </ul>	

評価：○

<b>施策3</b>	<b>共生意識の醸成と支え合いの地域づくりの推進</b>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R4.12の障害者週間にあわせ，障害理解・啓発イベントを実施</li> <li>障害者支援ボランティア養成講座も計画どおり開催。受講者数は増加</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でも効果的に共生意識の醸成を図るイベントの検討が必要</li> <li>受講者がボランティア活動する場合の受け皿の確保や調整が課題</li> </ul>

評価：○

# 柱4 みんなが健やかに成長できる共生のまちづくり

ライフステージに応じた切れ目のない支援と課題となっている医療・ケア体制の充実を図り、誰もが健やかに安心して成長できる共生のまちづくりを目指します。

<b>施策1</b>	<b>乳幼児期における支援の充実</b>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児童幼児検診時の全数面談実施や発達支援事業所との連携等により、早期発見や発達支援の充実を図る</li> <li>保育所等訪問支援を希望する児童への積極的な支援の実施</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容充実や多様なニーズへの対応のため、専門職のスキルアップが必要</li> <li>サポートファイルの支援者側への周知</li> <li>訪問支援のやり方統一のため、ガイドラインの作成が必要</li> </ul>

評価：○

<b>施策2</b>	<b>学齢期における支援の充実</b>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校の特別支援学級数等が増加し、適切な就学を提供可能に</li> <li>特別支援教育に関する研修について、一定のニーズが見られる</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級担任の専門性向上</li> <li>各校に出向く巡回相談を併用し、研修だけで終わらないような工夫</li> </ul>

評価：○

<b>施策3</b>	<b>医療・ケア体制の充実</b>
<b>取組1 医療的ケア等の支援体制の充実</b>	
<b>目標</b>	医療的ケアを必要とする障害児者や重度の肢体不自由児者とその家族が、地域で安心して暮らせる支援体制を構築
<b>事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市障害児等医療的ケア支援連絡会の開催</li> <li>喀痰吸引等の特定行為ができるホームヘルパーの育成</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医ケア連絡会では課題ごと（①インクルーシブ教育・保育，②卒後の地域生活）にワーキングチームを設置し、検討を進めた</li> <li>登録喀痰吸引等事業者数が増加</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医ケアに関する課題検討の方向性明確化のためロードマップを作成予定。作成に当たって実数やニーズ把握が必要</li> <li>補助制度を活用して登録喀痰吸引等事業者数の増加を目指す</li> </ul>

評価：○

<b>重点</b>	
<b>取組2 精神障害にも対応した支援及び医療サービス等の充実</b>	
<b>目標</b>	長期入院中の精神障害者の地域移行・地域定着を支援体制を構築
<b>事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進会議の開催</li> <li>専門職による精神保健福祉に関する相談支援</li> <li>地域移行支援・地域定着支援の利用促進</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種会議体を概ね予定どおり実施、協議を重ねた</li> <li>精神保健福祉に関する相談件数は概ね例年どおり。事例検討等を通じて複雑複合化する相談に対応</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域共生社会実現のため、関係者との協働による取組の推進</li> <li>包括的な相談体制の整備</li> <li>福祉サービス（地域移行）未利用者が多いため、未利用者の実態把握</li> </ul>

評価：○